

# LIBRARY NEWS

令和5年9月29日 No.6

新座市立第三中学校

校長 石田 和男

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

気づくと、蟬のにぎやかな鳴き声は消え、替わって虫の声が聞こえるようになりました。9月に入っても残暑が続きましたが、日中はまだ暑さが残るものの、朝、晩は過ごしやすくなりました。季節は秋本番へと移り変わっていくようです。体育祭が終わり、校内では、合唱祭に向けて練習する歌声が心地よく聞こえてきます。

ちまたでは、ハロウィンの装飾品やお菓子などが、店頭に並んでいます。クリスマスケーキやおせち料理の予約や来年のカレンダーの販売も始まっているのを見て、もうそんな時季なのかと気づかされ、今年も日に日に終わりに近づいてきているのだと感じました。

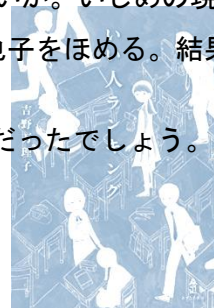
さて、先日、久しぶりに書店に行きました。書店には、新刊やメディアなどで注目されている話題の本や、ジャンル別に、売れ筋ランキング上位の本が展示されています。さまざまな書店における本のランキング情報は、どの本を買うか、迷ったときの参考になります。

実際に、ランキング1位の作品を読んで、その結果に納得するときもあれば、自分には、その作品の良さがあまり響かないときもあります。本を読んだ感想もそうですが、絵画にしる、音楽にしる、感性は人それぞれで、作品の良さは、高く評価する人の数の多さではないということです。とは言え、まったく情報がない状態で本選びをするとき、やはり、多くの人を選んだという本は気になります。ですから、ランキングの情報を参考にするのも、本を選ぶときの一つの手段だと思えます。

三中の図書室でも、本屋大賞や芥川賞、直木賞など賞を受賞した本を展示していますし、学期末の図書室だよりで「ベストリーダー（よく読まれた本）」を紹介していますが、それらの本から、あなたの“推し”の本が見つかるかもしれませんし、あなたの好きなジャンルや作家の本の中から、新たな“推し”の本を発見できるかもしれません。

『読書の秋』。あなたの“推し”の本を見つけに、そして、心の落ち着く、あなただけの時間を楽しみに、図書室に来てください。

さて、「ランキング」といえば、吉野万理子さんの「いい人ランキング」という作品があります。中学2年生の木佐貴桃は、在籍する2年1組の『いい人ランキング』で1位となり、そこから、クラスの空気が変わり始める。人の悪口は言わないし、掃除はさぼらないし、頼まれたら断らない人。「いい人」と呼ばれるのは、いいことだと思っていた。けれど、それは本当の自分なのか。「いい人」を演じているのではないか。いじめの現状から抜け出すために、同級生の圭機の助言を受け、自由作文で、いじめの首謀者である沙也子をほめる。結果、沙也子は「いい人ランキング」1位の2代目になり、今度は沙也子が孤立していく。



ここで、問題です。桃が、自由作文でほめた、沙也子がしたいいこととはどんなことだったでしょう。

- ① 高齢者福祉施設を訪問し、ふれあい活動をした。
- ② 地域の除草やゴミ拾い活動に積極的に参加した。
- ③ 捨て猫を保護し、里親を見つける活動をした。

「部門別の『いい人ランキング』をやれば、きっと全員が何かの一位だと思うの！」その後、桃のクラス、2年1組の暗く、じめっとした感じはなくなりましたが、桃の心には、傷が残ります。「三年生はきっときっと、素敵なクラスにする一つ」。今号の問題の答えの本は、分類番号913、**30**にあります。

前号のクイズの答え、タケトリ・オキナという男性が配信するポッドキャスト（音声配信サービス）の番組内容が、登場人物に影響しながら物語が展開していく小説は、①の青山 美智子 著「月の立つ林で」でした。②の佐藤 正午 著「月の満ち欠け」は、大泉洋主演で、昨年、映画化されました。③の森 絵都 著「みかづき」も、2019年に、テレビドラマ化されています。読後に、本のタイトルの意味が見えてくることでしょう。それぞれのおもしろさをぜひ味わってみてください。

今日は「中秋の名月」です。ということで、今号も前号に引き続き、「月」にまつわる小説の新着図書から、紹介します。第168回直木賞を受賞した千早 茜さんの作品です。受賞作『しろがねの葉』も届いています。同じ作家の作品ですが、現代ものと歴史もの、テーマもまったく異なった2つの作品を読み比べてみてはいかがでしょうか。特設コーナーに置いています。ぜひ、手に取ってみてください。

### 『赤い月の香り』

千早 茜/著 (集英社)



人並みはずれた嗅覚を持つ、天才的調香師、小川朔のところには、さまざまな香りを欲する依頼人が訪れる。そんな欲望の香りは、どんな香りなのだろう。  
怒りにとらわれると“赤い月”が見える青年、朝倉満。目の裏の赤い月の正体は？朔が満を仕事に誘った本当の理由とは…。  
香りで記憶が呼び起こされる。あなたなら、どんな香りを所望しますか。

### 『しろがねの葉』

千早 茜/著 (新潮社)



舞台は、戦国末期、シルバークラッシュに沸く石見銀山。銀掘の男は、毒に侵され、事故で命を落とすという危険と背中合わせで働き、短命で死んでいく。女の役目は、将来の働き手となる子を産むこと。  
男に負けまいと銀掘の手子(雑用係)として働き、女であるがゆえに制限され、銀掘の妻となり、母として、女として生きていく。天才山師、喜兵衛に拾われた少女ウメの半生を描いた歴史小説。

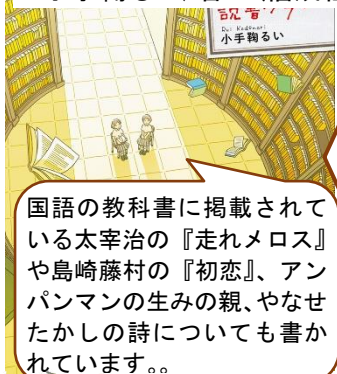
第168回直木賞受賞作

## 読書の秋

## どんな本を読むか迷ったらこれ!

### 『放課後の読書クラブ』

こでまり 小手鞠るい/著 (偕成社)



一冊の本を読んだことで、自分の進む方向が明らかに変わった。あの本に出会えたから、今の自分がある。あの人も出会えた。そんな『運命の一冊』。学校生活のカレンダーに合わせて、1学期、2学期、3学期ごとに、筆者の『運命の一冊』を紹介したエッセイ。



本の世界は広くて、深くて、豊饒だ。ようこそ、本の世界へ。

14歳の世渡り術  
『いつか君に会ってほしい本 何度でも読み返したい158冊』  
田村 文/著 (河出書房新社)

共同通信社が配信している「中学生用の読書案内」の連載記事、『本の世界へようこそ』を書籍化。テーマごとに、見開き2ページで、本の内容を簡潔に解説。『かがみの孤城』など三中の図書室にある本も、たくさん紹介されています。

## 食欲の秋

## タイトルが『食』に関連する本を集めました!

14歳の世渡り術  
『タガヤセ! 日本 「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』  
白石 優生/著 (河出書房新社)



筆者は農林水産省の公式YouTubeチャンネル「BUZZまふMAFF」で活動

無人で動く  
トラクター!  
農薬をまくドローン!  
カ仕事を助ける  
アシストスーツ!

AIによるスマート農業、品種改良の秘密など最新の農業の情報が満載。グラフや写真もあり、目の前で話を聞いているような感覚で読めます。日本の食材豆知識やレシピのコラムも楽しいです。日本の農業の魅力を伝えたいという筆者の熱い思いが伝わる一冊です。



『クワトロ・フォルマッジ』  
あおやぎ あいと 青柳 碧人/著 (光文社)  
「クワトロフォルマッジ」4種のチーズピザのこと。

ピッツェリアに来店した客がマルゲリータを食べたとたんに絶命した。ピザに毒が入っていたのか?今夜は店長不在。店のスタッフ4人の中に犯人がいる!?

食パンをくわえて走る少女が人とぶつかり、恋に発展?飛行機内で人が倒れる。「お客様の中にお医者様はいらっしゃいませんか?」。ドラマで殺人を自供する崖……。ベタな「あるある」を元ネタにしたショートショート十作を収録。

